

モデル施設（北千里小学校跡地複合施設）の進捗と木材利用検討

■現在の進捗状況

- 令和元年（2019年）10月末まで → 基本計画
- 令和2年（2020年）3月末まで → 基本設計
- 令和2年（2020年）11月末まで → 実施設計

ワークショップ、及び吹田市との専門ワークショップを開催し基本計画中（ゾーニング中）全6回中、4回のワークショップが完了（9月12日現在）

- ・9月29日：第5回 市民活動スペースでやりたいこと（公民館機能）
- ・10月19日：第6回 ワークショップまとめ
- ・11月上旬（仮）：吹田市報告会
- ・11月中旬（仮）：パブリックコメント

■複合施設の施設規模から想定される木材利用量の検討

○（例）図書館・児童センター・公民館の腰壁及び天井材に木材を利用した場合

3施設全体の腰壁想定	
周長	約 635 m
3施設全体の天井部分想定	
面積	約 1400 m ²
構造材（梁型）の木質化部分想定	
面積	約 350 m ²

※基本計画（ゾーニング）中のため、仮の数値

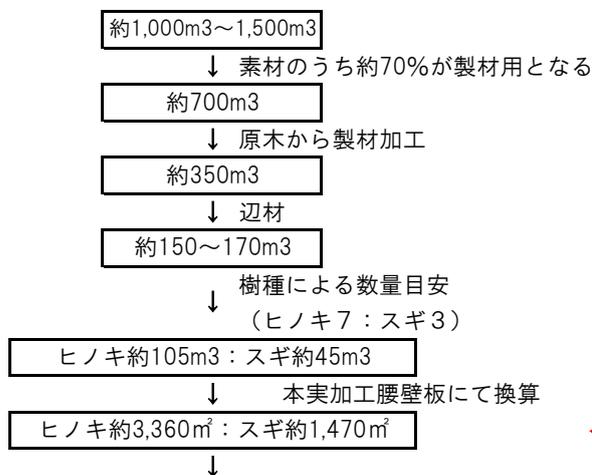
腰壁周長 (m)	腰高 (m)	腰壁材使用面積 (m ²)
635.0	× 1.2	= 762.0

腰壁材想定面積 (m ²)	天井材想定面積 (m ²)	構造材木質化想定 (m ²)	合計 (m ²)
762.0	+ 1400.0	+ 350.0	= 2512.0

※ 床材、家具・什器等の一部については、今後部分的に木質化検討の可能性あり

■ 能勢町産材の利用状況（素材供給状況）

○ 1年あたりの出荷材積 ※大阪府森林組合豊能支店作成資料より参照



1年の素材供給量で腰壁及び天井材等に供給可能